

# 浜松未来総合専門学校（令和5年度実績）

## 学校自己評価・学校関係者評価 評価報告書

### 1. 教育理念・教育目標

〈教育理念〉

建学の精神「技術者の育成をもって地域社会に貢献する」

〈教育目標〉

本校は、教育基本法に則り、学校教育法に従い、工業分野における産業の発展に対応する情報処理、商業実務分野における実務教育と専門知識、教育・社会福祉分野における社会性と豊かな人間性、文化・教養分野における芸術性の素養と創造的スキル並びに各分野に関連する専門技術についての教育を行い、有能な職業人、社会人の育成を通して、産業の振興と地域社会の発展に寄与することを目的とする。

### 2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- ①総合専門学校としての訴求から各分野・学科毎の専門性と教育力を全面に出し、新しい教育システムへのチャレンジと実績を併せて訴求し、日本人学科 285 名、国際系学科 70 名の新入生を確保する。
- ②「選ばれる学校」として、評価を受けるために教育の質を高める取り組みを通して、競合校への優位性を確保し、ステークホルダーの満足度向上、信頼度向上を図る。
- ③「就職実績は教育の成果」の意識を高め、地域に信頼され、評価される専門学校になるために、地域、産業界・企業との結びつきをより強化する。
- ④業務運営の見直しによって創出する時間とマンパワーを、教育の質向上に向けた教育活動に振り向けることにより、教育成果と教職員エンゲージメント向上の両立を目指す。

### 3. 評価項目の達成及び取組状況

評価方法： 4（適切）→ 3（ほぼ適切）→ 2（やや不適切）→ 1（不適切）

#### （1）教育理念・目標

評価欄

1-1	教育理念並びに教育目標が明確に示されているか	4
1-2	学校における職業教育の特色は何か	4
1-3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
1-4	理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	4
1-5	各学科の教育目標、育成人材像は、業界のニーズに向けて方向づけられているか	4
学校自己評価 平均		4
成果と課題		
①教育理念並びに教育目標は、学校ホームページや全学生に配布する学生便覧にて掲載し学生に説明している。		

<p>②高い専門知識と技術（専門性）と、社会人として基礎的・汎用的能力（ジェネリックスキル）の育成</p> <p>③学校の将来構想については、法人内専門学校5校の中期計画として計画、実行されている。</p> <p>④学校及び学科の育成人材像は、学校説明会やオープンキャンパス等で説明している。また、学生に対しては、入学時のオリエンテーション（修学基礎）、保護者に対しては後援会総会にて説明している。</p> <p>⑤教育課程編成委員会、シナリオサポート企業と連携して、業界のニーズの把握に努め授業展開している。</p>
<p><u>今後の改善方策</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、学校生活や学校の取り組みについては、ホームページ上での情報発信の機会を増やし、学生をはじめ多くの方への周知を図る。</li> <li>・教育課程編成委員、シナリオサポート企業の段階的な拡充により、多くの旬な業界ニーズの把握に努めている。</li> </ul>
<p><u>学校関係者 評価コメント</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業で学生便覧を見たかと聞くと多くの学生が見たことがないという回答であった。</li> <li>・学校の将来構想を5校連携して計画、実行されているという点は素晴らしい取り組みだと思う。</li> <li>・教育課程編成委員会の会議にて実習内容についてご相談を頂いた。とても良い意見交換ができたと感じているが、弊社が実習先ではなかったため、もし実習先としてお選びいただけたら、さらに直接的なサポートが可能だと考えている。</li> <li>・多くの学科を設置されていると認識している。相互の利点を活かした学校運営を期待する。</li> <li>・専門学校で必要となるであろう「必要とされる人材を見定める社会ニーズの情報収集」が十分であると思った。</li> <li>・目指すべきゴールと現状には隔たりがあるかと思うが、地域のニーズを積極的に取り入れる活動をする事で専門学校として、隔たりを短期で埋めていくことが可能かと信じている。</li> <li>・社会情勢の変化や業界ニーズを的確に把握し、組織的に検討し改善に努めておられると感じた。</li> <li>・専門性と社会人としての基礎、汎用的能力構成された人材は、DX時代におけるビジネスパーソンとして活躍できる。専門学校の評価指標上難しいかもしれないが、専門職以外の就職の道筋も用意できると良いのではないか。</li> </ul>

学校関係者評価

3.9

## (2) 教育活動

2-1	シラバスが作成され学生に配布されているか	4
2-2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
2-3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
2-4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか。	4
2-5	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4
2-6	授業評価の実施・評価体制はあるか	3
2-7	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
2-8	資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
2-9	人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3
2-10	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上	4

	のための取組が行われているか	
2-11	関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
2-12	目標に到達しない学生に対し適切なフォローがなされているか	4
<b>学校自己評価 平均</b>		<b>3.8</b>
<u>成果と課題</u>		
<p>①全科目のシラバスは、ホームページ上に公開している。また、各科目における授業開始の際には、学生に対してシラバスに沿って授業計画や到達目標等を説明している。</p> <p>②教育到達レベルや学習時間は、学生便覧やシラバスに記載している。</p> <p>③産業界・企業と創る「人財育成目標」に基づいた「人財育成シナリオ」を構築し、複雑化・多様化する分野に合わせ細分化した「小シナリオ」の中に目標達成に必要な科目を配置している。</p> <p>④教育課程編成委員会にて助言頂いた取り組みは、速やかに授業へ反映させている。</p> <p>⑤職業実践専門課程のもと、企業連携による実践的な職業教育が体系的に位置づけられている。</p> <p>⑥年度を3回に細分化し、授業評価アンケートを実施し、担当講師へフィードバックしている。</p> <p>⑦成績評価、単位認定は教務規定に沿ってシラバスに記載、学生へ説明している。</p> <p>⑧資格取得については、各科で重点資格を位置づけ、受験、合格に向けた指導体制のもと授業運営をしている。</p> <p>⑨当該分野での実務経験を積んだ実務家教員の講師採用に努めている。また、技術研修を通して継続的にスキルアップを図っている。</p> <p>⑩すべての学科教員（留学生学科を除く）において技術向上を図る研修に参加した。また、指導力向上を図る研修には全員参加した。</p> <p>⑪カリキュラム見直しは、職業実践専門課程学科（職業実践専門課程申請予定学科を含む）では、教育課程編成委員会を開催（年2回）し、外部委員の協力のもとカリキュラムの作成・見直しを図っている。</p> <p>⑫目標に到達しない学生に対するフォローは、個別面談や放課後補習等により個々に寄り添った対応をしている。</p>		
<u>今後の改善方策</u>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業評価にて収集されたアンケート結果において、1件の改善すべき案件に速やかに対応を図った。集計結果を全ての講師へのフィードバックに時間を要している。引き続き、授業終了後に速やかに授業評価を実施する仕組みを体系化する。</li> <li>・ 3名の専任教員採用に至ったが、教育人材の確保については常に課題である。非常勤講師を含めて、各学科とも専門性の高い領域であるため、採用においてもマッチする人材が少ない。継続的に、ホームページ掲載や人材派遣サービスの利用等、講師募集要項を周知させる。</li> </ul>		
<u>学校関係者 評価コメント</u>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 年3回のアンケート結果がフィードバックされていない。（科目数、授業終了時期によって、年1回の講師もいる）</li> <li>・ 授業評価アンケートを実施し、担当講師へフィードバックされている点は、双方で質の高い授業を目指す意味で大変重要である。</li> <li>・ カリキュラムの見直しを外部委員の協力のもと図っている点は、常に教育の向上に非常に役立っていると感じる。</li> <li>・ 生徒さんからの授業アンケートについて、必要な意見とは存じますが、専門職に就く上で学んでおくべきこと、在り方、社会の厳しさという点において寄り添いすぎず、プロダクトアウトの姿勢を見せることも大切だと感じる。</li> <li>・ 教員の人材確保に課題があると伺った。他校の評判の良い授業を参考にするという試みを期待する。</li> <li>・ 知識を伝える授業に加え、生徒に親しみやすい授業を行うべきとの意見もあった。別の学校では、生徒のことを思われる先生が学校の中で孤立してしまい、お休みをしてしまうという状況を知った。先生の人柄は、学校全体で養</li> </ul>		

われるモノだと感じた。ぜひ、先生の声に耳を傾け、支えてあげて欲しい。

- ・地域のニーズに迅速に対応するには、カリキュラムとは別に講師の柔軟性が必要かと想像した。不偏な内容と時節にあった内容を同じ講師に期待するのは難しいのかも知れない。時節にあった内容のための講師の短期採用の仕組みが必要になりそうだ。
- ・カリキュラムの作成、見直しについて、既存の学科はもちろん、新しくできた学科は学年進行につれ学習の進め方に思いを感じる事が多く、学生の意見もできるだけ考慮したカリキュラム作成・見直しをしていただけるとよい。
- ・授業評価、集計結果のフィードバックを速やかに実施する仕組みづくりが課題となっていること、専門性の高い教育人材の確保について改善を期待する。
- ・アンケート結果を踏まえて改善行動に移すサイクルが確立されているのは大変よいと思う。こうした改善は、内容がセンシティブなものでなければ周知・内部広報し広げていけるといい。

学校関係者評価

3.8

### (3) 教育成果

3-1	就職率の向上が図られているか	4
3-2	資格取得率の向上が図られているか	3
3-3	退学率の低減が図られているか	3
3-4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4
<b>学校自己評価 平均</b>		<b>3.5</b>

#### 成果と課題

- ①就職内定率 98.9% (目標 98%)、専門職内定率 85.4% (目標 85%) を達成した。
- ②資格取得では、年度初めに目標合格率(数)を掲げ対策授業を講じている。計画と実施と検証のサイクルを実施。
- ③退学率は 5.6% (昨年 4.9%)であった (精神的 31%、進路変更 29%、学習意欲 14%、病気 11%、家庭事情 3%、その他 11%)。AO 学生の進路変更が 7 名おり、AO への取り組みに改善の余地がある。
- ④同窓会は継続的に運営されている。卒業生の社会的な活躍については同窓会より情報提供を受けている。  
在校生の教育成果発表の場として「浜松未来ウィーク」(学習成果発表)を開催した。

#### 今後の改善方策

- ・各科重点資格として位置づけられているものについては指標を定め、目標必達として P D C A を回していく。
- ・精神的理由による休退学者が多く、学校としての対応には限界があった。このため、退学率が微増してしまった。法人が導入する休退学防止の AI ツール活用による休退学兆候者判定の精査、欠席者への早期対応をさらに心がけて、学生のケアに努める。また、AO 入試合格者の精神的、学習意欲での理由による休退学者も散見され、AO 面談の質向上が求められている。

#### 学校関係者 評価コメント

- ・就職内定率が目標よりも高いことは大変素晴らしい。
- ・退学率が増加していることは残念であるが、学生のケアを引き続き行っていただきたい。
- ・専門職 = 希望職なのかという点が気になった。
- ・浜松は多くの市民参加型のイベントが開催されていると聞く。時間はかかると思うが、他のイベントと連携を図ることが出来れば「浜松未来ウィーク」も地域の活性化につなげることができるのではないと思う。また、学生が発表をするというのは、社会との接点を経験するのに重要な機会かと思うので、引き続き「浜松未来ウィーク」が開催されることを期待する。

- ・本項目の1～4は関係していそうで、要因は別々に起因する評価項目だと思う。また、目的と手段が逆転しがちな項目であるとも思う。例えば、募集実績で無理をすれば、退学率にしわ寄せが来るでしょうし、就職率と資格取得はゲーム系だと必ずしもマッチしない。本項目の変更は、文部科学省的に難しいとは思っているので、貴校内での各項目の関連性を先生方と共有し、効率的な目的達成を目指していただきたい。
- ・資格取得率については、非常に高い成果をあげている学科（情報系）もある。
- ・専門学校入学後にミスマッチが起きないよう、高校側でもしっかりとした指導が必要だと感じた。
- ・退学率については難しい問題だが、引き続き早期のケアに努めて対応していただきたい。

学校関係者評価

3.7

#### (4) 学生支援

4-1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
4-2	学生相談に関する体制は整備されているか	4
4-3	学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
4-4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
4-5	保護者と適切に連携しているか	4
4-6	卒業生への支援体制はあるか	4
4-7	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4
4-8	新たな求人開拓の努力はしているか	4
4-9	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
4-10	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	2
<b>学校自己評価 平均</b>		<b>3.8</b>

#### 成果と課題

- ①職員室内に就職担当を配置し、学科担当と協力のもと学生の就職相談には常時対応している。  
3年ぶりの校内企業ガイダンスを開催し82社を招へいた。学内企業説明会を107社実施した。
- ②学科担当によるホームルームや個別面談を実施している。スクールカウンセラーによるカウンセリングをプライバシーに配慮して受けられる体制を整えている。オンラインによるカウンセリングも随時可能である。
- ③「高等教育の修学支援制度」の認定を受けている。またこれまで通り、学生支援機構の奨学金制度や提携するクレジット会社の教育ローンを低金利で利用できる。
- ④看護師経験をもつ職員より、日頃から健康相談が受けられる。
- ⑤保護者から成る後援会が組織されており、学校に事務局を設置している。学生指導として出欠席指導、成績不良者に対する保護者連絡等は常に実施しており、学生の変化を状況に応じて情報を共有する体制をとっている。
- ⑥卒業生から成る同窓会が組織されており、学校に事務局を設置している。定期的と同窓会を開催して卒業生の動向把握に努めている。また、卒業生への再就職支援体制を継続的に運営している。
- ⑦高等学校と連携を図り、キャリア教育・職業教育を各種職業分野において実施している。
- ⑧求人数1,401件（昨年1,161件）、求人企業数925社（昨年794社）と、ともに増加している。
- ⑨課外活動として、学校全体規模でバス遠足や、学科ごとに教育上必要な施設見学や展示会見学等を実施する際は、保護者による学校後援会組織からの支援を受ける体制を整えている。
- ⑩現時点において、リカレント・リスキリング教育環境は整備されていない。

#### 今後の改善方策

- ・新型コロナウイルス感染症（5類）による学内運用を、インフルエンザ対応に倣い整備し学生へ周知していく。
- ・リカレント、リスキリング教育は、中長期的計画に盛り込まれ検討している。

#### 学校関係者 評価コメント

- ・専門学校の特性を活かし、より社会・企業に近い環境で学生支援を行うとよい。特に職場環境の実態を知ってもらうため、インターンシップの時間を長くしたり、受け入れ企業を増やす努力が必要と思える。
- ・リカレント教育の拡充を期待する。
- ・3年ぶりの校内企業ガイダンス、学内企業説明会の実施が高い就職内定率につながっていると思う。引き続き支援に力を入れていただきたい。
- ・コロナ5類に移行したことで更なる支援を期待する。
- ・企業説明会にて、メイク・ブライダル科の学生だけでなく、グラフィックデザイン科の学生にも話を聞いていただき、参加企業として大変ありがたく感じる。
- ・リカレント、リスキリング教育は、大きな視野では専門学校の範疇に入ると思うが、就職・地域活性化につなげるためには、情報収集、実績確保に時間がかかると思う。
- ・長期になると思うが、少子高齢化を支え実効力のある教育機関としての仕組み作りに期待する。
- ・研修旅行は先生の負担が大きい割に学生の成長のばらつきが大きすぎる行事ではないかと思う。とは言え、親御さんからも期待される行事だとは思うので、海外ではなく、国内が良いかと思う。やはり海外が望まれているのか。
- ・変化の激しい現代において必要とされ、注目されているリカレント・リスキリング教育について評価項目に盛り込んだことは評価できる。今後の整備を期待するとともに、高校現場の教員にも活用させていただきたい。
- ・適切に支援されていると思う。

学校関係者評価

3.7

### (5) 教育環境

5-1	講義室、実習室の管理は適切に行われているか	4
5-2	実習室及び講義室は学生の自習室として開放しているか	4
5-3	教育用機器備品は整備されており活用されているか	4
5-4	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されている	4
5-5	防災に対する体制は整備されているか	4
5-6	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
学校自己評価 平均		4

#### 成果と課題

- ①講義室、実習室は管理担当者（教員）を割り当てている。ソフトウェアについても定期的にバージョンアップを図っている。
- ②実習室及び教室は原則自習室として開放している。図書は、各科で専門書を購入して教室や実習室で自由に閲覧できるよう整備している。
- ③全ての教室にノートパソコン、タブレット、Web カメラ、プロジェクタを設置し、対面授業とオンライン授業のハイブリッド授業環境にて運用している。
- ④各科教育上必要な実習室や設備など、学習をするための環境は整っている。

<p>⑤防災マニュアルが整備されており、毎年全校生徒を対象に避難訓練を実施している。</p> <p>⑥学科担当、就職担当、分掌担当の役割分担のもと、効果的な成果があげられるよう実施している。</p>
<p><u>今後の改善方策</u></p> <p>・引き続き、学生数や人材育成目標に見合った機材整備は計画的に取り組んでいく。</p>
<p><u>学校関係者 評価コメント</u></p> <p>・教室が狭いように感じる。</p> <p>・教育環境はかなり充実されていると思う。</p> <p>・昨今災害が増えているため、引き続き防災に対する体制の整備を行って欲しい。</p> <p>・弊社でも実務研修やインターンの受け入れなど積極的にさせていただいており、他学科の学生さんの教養教育としてレストランでのマナー講座を実施することも可能である。どの分野でもプロと関わることで得られる刺激があると感じる。</p> <p>・コロナ禍を経て、生徒同士が集まれる環境が戻ってきた。先生方の管理が増えると思うが、生徒の集まれる場所を用意すると一部の生徒の自主性を伸ばすチャンスが生まれる。</p> <p>・学校に居場所があるのが、自律的な学習に有効ではないか。学生同士で学校に残れる環境を作ってあげてほしい。</p> <p>・教育環境整備に努めていることが伺える。</p>

学校関係者評価

4.0

## (6) 学生の募集と受け入れ

6-1	入学案内には志願者が必要とする情報が掲載されているか	4
6-2	募集要項の内容は適切か	4
6-3	学生募集活動は、適正に行われているか	4
6-4	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
6-5	学納金は妥当なものとなっているか	4
<b>学校自己評価 平均</b>		<b>4</b>

### 成果と課題

- ①②入学案内・募集要項については、毎年見直しを図り、虚偽のない正確な情報掲載を常に努めている。
- ③オープンキャンパスは毎月1～2回（ピーク時は学年別に4回）開催、入学選考は10月以降月1回実施し、3月は志願者ごとに随時実施している。
- ④学習内容をはじめとする作品の成果物、取得資格、就職実績などの教育の成果は、ホームページ、パンフレット、オープンキャンパス時の学校・学科説明（高校訪問時も含む）にて伝えている。
- ⑤学納金については、教育の質の維持・向上、施設設備、消費税率など内外の要因を見極め、内部の効率的な運営に努めながら法人全体で適切に判断している。

### 今後の改善方策

- ・今後も継続して、対象者にわかりやすく情報を整理し紳士的な募集活動を行っていく。

### 学校関係者 評価コメント

- ・オープンキャンパスの体験が学校を選んだ理由とする学生が多いため、オープンキャンパスの充実を図るとよい。
- ・学生募集と受け入れの成果は内容がしっかりされていて、引き続き取り組んでいただきたい。
- ・正確な情報を発信されている点が信頼できる。
- ・ブライダルという目線では、コロナ禍で親族の結婚式に列席するといった経験がない中学生・高校生が増える時期

に差し掛かる。列席経験がない子どもたちにどのようにブライダル・結婚式の仕事のステキさを伝えていくことができるのかが業界の課題である。

- ・地域を支える人材育成を行えるのが専門学校である。18歳人口が減っていく中、生徒が減ると固定費が学校運営を圧迫する。縮小する市場では1強ができ、市場を独占すると聞いたことがある。地域活性化を支える貴校の活躍を期待する。
- ・IT系で恐縮ですが、前職時代、メインプログラマは専門学校出身でした。社長が直接専門学校に出向き、採用活動をしていた。一人は現在、ある企業のCTOになり活躍している。
- ・学生支援活動から、学生募集につなげることができると良い。
- ・貴校の教育理念や教育目標、および教育環境や成果に基づく適切な学生募集が行われている。

学校関係者評価

4.0

### (7) 教職員組織、学校運営・管理、財務、法令等の遵守

7-1	教職員の能力、業務内容の評価を定期的実施しているか	4
7-2	組織間、各部署間の連携は適切に図られているか	3
7-3	非常時の危機対策管理に対する周知は徹底されているか	4
7-4	消防計画、学校安全計画は適切に整備し、防災訓練等は実施されているか	4
7-5	目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
7-6	事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4
7-7	運営組織や意志決定機能は、規則等で明確化されているか、有効に機能しているか	4
7-8	人事、給与に関する制度は整備されているか	4
7-9	教務・財務等の組織整備など意識決定システムは整備されているか	4
7-10	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4
7-11	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3
7-12	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
7-13	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
7-14	財務について会計監査が適正に行われているか	4
7-15	財務情報公開の体制整備はできているか	4
7-16	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
7-17	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
7-18	自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
7-19	自己評価結果を公開しているか	4
7-20	ハラスメントに対する防止対応策が整備されているか	4

学校自己評価 平均

3.9

#### 成果と課題

①法人内人事評価制度に従い実施している。②教務・総務・広報・就職部門間が連携して業務上の様々な問題解決に取り組んでいるが十分でない場面もあり、更なる改善に向けたレビューが必要である。③④非常時における危機管理対策については、法人全体での対応が周知されており、学校毎の消防等安全に対する対応は常に行っている。避難訓練は毎年実施している。⑤⑥⑦学校としての教育目的、事業計画に沿った運営方針は毎年策定され、運営組織の体制



も常に見直しを行っている。⑧⑨就業規則を含む諸規程は法人によって整備されている。全ての規程集については電子化されており、教職員がパソコンの画面で自由に閲覧できるよう整備されている。⑩業務を遂行するための各種情報システムは整備されているものの、カレッジによる特徴あるカルチャーは、全校的な運営体制の統一の壁となっている。ガバナンス統制、効率化の観点から、引き続き更なるDX化の推進が必要である。⑩⑬⑭教育活動に関する情報公開はホームページやパンフレット等を通して最新の情報を提供している。自己評価本評価についても公開している。⑫⑬⑭⑮⑯予算主義を基本とした運営に努めており、財務情報の公開、会計監査など経営上必要となる法令、設置基準に必要な法令は遵守している。⑰個人情報の取り扱いについては教職員への教育・指導を行っており、現時点で問題となる事例は発生していない。⑱ハラスメント防止のための委員会を設けている。

今後の改善方策

引き続き、健全で効率的な経営に努める。法令順守を徹底し、全てのステークホルダーからの信頼維持に努める。また、業務の標準化も継続的に取り組んでいく。

学校関係者 評価コメント

- ・7-9は意思決定システムが正しいと思う。
- ・良い教育とサービスは、職員の働き甲斐のある職場から生まれるので「職員満足」も項目に入れて頂くとよい。
- ・大変健全な学校運営をされていると思う。
- ・組織は効率化するほど変化を嫌うようになる。業務内容で分けるのではなく、不偏な部分と変化に対応する部分を分けることが重要である。
- ・地方で容認されているハラスメントが、大企業では容認されないという印象をもっている。過去、地方銀行に就職した友人が言っていた。ハラスメントは、指摘されても本人が納得できないケースが多いと思う。「こんなことがハラスメントになってしまう」「具体的にこんな判決が出た」といった具体例を挙げ、教員から学生へ伝えられる様になると良い。
- ・各部署の更なる連携により、円滑な運営を目指していただきたい。

学校関係者評価

4.0

**(8) 社会貢献・地域貢献、国際交流**

8-1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
8-2	留学生の受入れ・派遣等において適切な手続き等がとられているか	4
8-3	留学生の受入れに対して、学内での適切な体制が整備されているか	4
8-4	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	3
8-5	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
<b>学校自己評価 平均</b>		<b>3.8</b>

成果と課題

- ①高等学校対抗のワープロ競技会、中学校/高等学校などからの職業体験授業実施等、各種専門分野における受け入れ、施設活用を多数行っている。
- ②③留学生に対しての在留更新や生活サポートなど分掌担当者を取り決め、各種法令に従った適切な受け入れ手続きを行っている。
- ④浜松未来ウィーク（学習成果発表）や保育特別講座など、近隣住民や連携先施設等の方に参加いただいたが、職業訓練の受託には至っていない。

⑤県警サイバー防犯ボランティアをはじめ、学内外の活動における取り組みを奨励し支援している。

今後の改善方策

地域貢献につながる取り組みをさらに強化し、開かれた学校として施設利用の促進を行っていく。

学校関係者 評価コメント

- ・浜松市、自治会と協力し、専門学校の特徴を活かしたイベント等、学校の PR に繋がる活動や、学生がより社会貢献できる制度が必要と思える。例えば、地域の防災訓練に参加すると内申書を良くすると考えられないか。
- ・地域との連携を大切にし、今後も更なる発展を期待したい。
- ・留学生の対応も、今後とも継続的に続けていくことが重要だと思う。
- ・社会貢献、地域貢献が貴校の「学生の募集と受け入れ」「教育成果」と繋がることで、持続的な活動になると思う。校内関係者、協力企業にその点を理解していただき、やらされ感のない積極性を引き出せるとよい。
- ・社会貢献・地域貢献、国際交流を社会二ーズの掘り起こし、就職先の確保、学生の募集と受け入れにつなげられると良い。研修旅行が韓国であることも、海外学生の獲得の側面もあるのか。
- ・学生の学びを活用した社会貢献活動の参画が、今後ますます活性化することを期待する。

学校関係者評価

3.8